



令和3年7月14日

報道関係者 各位

(公財) 世界宗教者平和会議日本委員会

プレスリリース #175
WCRP/RfP 日本委員会 和解の教育タスクフォース
「平和と和解のためのファシリテーター養成セミナー」第1回フォローアップセミナーを実施

世界宗教者平和会議（WCRP/Religions for Peace=RfP）日本委員会和解の教育タスクフォースは、「平和と和解のためのファシリテーター養成セミナー」第1回フォローアップセミナーを7月10、11日にオンラインで開催しました。今回のフォローアップセミナーは、同養成セミナーの第1期と第2期の受講生を対象としたもの。ファシリテーターとしての知見と能力をさらに高めていくことを目的に実施され、44名が参加しました。

今回のテーマは、『外へふみだす- 東北アジアの平和構築について考える-』。セミナーでは、東北アジアにおける分断と和解について「人間の安全保障」や「修復的正義」等の概念を学びながら、参加者が日ごろ取り組んでいる実践報告を交え、ファシリテーターとしてのスキルを高め合いました。

1日目(7月10日)、開会式で挨拶にたった山本俊正同タスクフォース責任者は、「このセミナーを通して、市民、宗教者は、東アジアに蔓延する軍事的抑止論を克服する平和構築のあり方を見出していきたい」と語り、参加者の積極的な参画に期待を表明しました。

セッション1「東北アジアの状況及び平和創造の可能性」では、松井ケティ清泉女子大学教授が講師を務め、東北アジアに存在する歴史認識、領土問題等の諸課題について概観しながら、それらに対するコミュニケーションや対話を用いた信頼醸成による平和創造の可能性について説明しました。

セッション2「東北アジアの平和のための諸宗教（WCRP）の取り組み」では、安勝熙 WCRP 平和研究所研究員が WCRP の歴史や組織、活動について説明。特に、同日本委員会と中国宗教者和平委員会（CCRP）や韓国宗教者平和会議（KCRP）との対話・交流の歴史について語り、市民、宗教者の平和構築の事例を提示しました。その後、参加者は具体的な平和構築の活動について話し合いました。

セッション3「東北アジアにおける修復的正義のファシリテーション」では、片野淳彦東北アジア地域平和構築インスティテュート運営委員長が講師を務めました。「修復的正義」の概念を説明した後、高校生の喫煙問題を扱ったケーススタディを参加者同士で実施しました。

2日目（7月11日）は、セッション4「東北アジアの安全を考えるファシリテーション」の講師を務めた暉峻僚三氏が、国家安全保障と人間の安全保障の議論を説明しました。その後、複雑な安全保障環境下における国家の予算策定を仮想したワークショップが行われました。

セッション5「東北アジアの分断から和解へー 世代を超えて受け継がれた課題への責任と癒しに取り組む」では、石原明子熊本大学准教授が紛争解決の理論や平和構築におけるトラウマ回復プログラム等を説明。その後のグループディスカッションでは、世代を超えて受け継がれるトラウマをどのように乗り越えることができるのかについて、話し合いが行われました。

セッション6「東北アジアの平和のビジョンー 平和創造の主体であるわたしたち」では、奥本京子大阪女学院大学教授が講師を務め、暴力概念をテーマにしたアニメ鑑賞の後、東北アジア平和創造をテーマに、民主主義を機能させるワークショップ「シカト力を超えてー Active citizen になるためにー」を実施しました。参加者は、オンライン上の模造紙を使って、暴力の原因やそれを取り除く方法などについてグループワークを行いました。

以上の6つのセッションが終了し、最後に全体の振り返りが行われました。ある女性の参加者は、「このセミナーは幅広い参加者が集い、また学びも多様であったので、非常に有意義でした。次回は、さらに幅広く東北アジアの国々から多くの人に参加して頂ければ意義深くなる」と語りました。また男性の参加者は、「改めて平和構築の学びとは、人の悲しみを感じることであると思いました。今回、紛争や公害被害のあった水俣の現状を学び、このような状況の中で和解をもたらすためには、まず人の悲しみについての理解が必要であると感じました」と感想を述べました。

閉会の挨拶にたった庭野光祥立正佼成会次代会長は、今回のセミナーの意義について、多くのことを多角的に学習することができたと述べました。その上で、和解のために身近で実践できることが多くあり、さまざまな人の痛みや悲しみに対して忍耐を持って向き合っていくことが大切であると強調。そして、地域や世界における平和創造に向けて、WCRPが行ってきた「平和と和解のためのファシリテーター養成セミナー」を今後も、継続して実施していきたいと語りました。

世界宗教者平和会議（WCRP）：1970年に発足した国際NGO。国連経済社会理事会に属し、1999年に総合協議資格を取得。世界90ヵ国以上にわたる国際諸宗教ネットワークとして諸宗教間の対話・協力を通じた紛争和解や平和教育などの平和構築活動を行っています。同日本委員会は、1972年に日本宗教連盟の国際問題委員会を母体として発足し、現在は公益財団法人として諸宗教連帯による平和活動を行っています。

〈お問い合わせ〉 世界宗教者平和会議（WCRP）日本委員会 担当：安、三善
〒166-8531 東京都杉並区和田 2-7-1 普門メディアセンター 3F
TEL:03-3384-2337 FAX:03-3383-7993